

# アクセルワークを 覚えつつ

# ブレーキングに 磨きをかける!



R:RACING  
EVOLUTION

どうなると曲がれなくなるのか、どうすれば曲がれるようになるのかをしっかりと理解していくことが攻略の足掛かりになる。その要となるのがブレーキング。きっちりブレーキングを覚えて、遠心力でラインをふくらませないようにしよう。

R racing	タイトル	アール：レーシング・エヴォリューション		
	発売元	ナムコ	ジャンル	レーシング
	発売日	発売中 (11月27日)	価格	6800円(税別)
	開発	ナムコ	制作者	プロデューサー：中村 勲
	ブロック数	4ブロック	対象年齢	12歳以上
その他		システム対応	EXTRA HDIV	

## コース攻略の"要"はブレーキングの修得にあり

アクセルを踏み込んで少しでも高い速度で走ること重要だが、コーナーなどではいかに曲がれる速度に合わせていけるかが勝負となる。

その速度に合わせていく方法がブレーキングなのだが、コーナーでの多くのミスはブレーキングが不完全

なことがほとんど。ブレーキングは"早め"、"多め"を基本とすること。ラインのトレースを目標とし、そこから徐々にブレーキングのタイミングを遅らせ、量も減らしていこう。少しでも高い速度でコーナーを攻めていけるようにしていきたい。



← 舗装路はクリップ限界までブレーキングを遅らせる!



← 未舗装路は早めのブレーキングで向きを変えること!

## 鈴鹿サーキット Suzuka Circuit

全長：5807メートル

前半の東コース部分は、メインストレートでのブレーキングが重要だ。連続コーナー部分もアクセルワークを急ると大きくタイムロスをする。後半はヘアピンのブレーキングが重要だが、高速コーナーの速度調整にてこすると差をつけられるので注意したい。



### 7 速度超過に要注意

頭上にあるゲートをくぐるまえから減速を始めないと、まずこのきついふたつのインを突くことはできない。やばい!と思ったらルール違反だが、シケインは曲がらずに直進することも可能。



### 1 減速勝負

減速してコーナーに入るとは「鉄則」だが、ふくらむ要素を抑えるため、斜めに入ると。より奥で遠心力を受けられるようにしよう。



### 3 インキープ

ヘアピンを速く走る鉄則は確実にインを取る事だ。早めの減速完了が必須となる。あとはアクセルワークで外にふくらまないように。



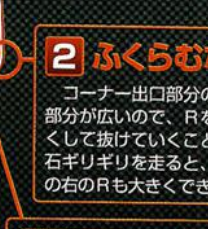
### 4 コース幅を有効に

ここは、ラインを奥でふくらませ、できるだけ長く外側を走ること。すると、アウト側から奥の右のインへ大きなRで加速して走れるようになる。



### 5 滑らかに

ここでアクセルをゆるめているような走りではタイムアップは望めない。インに入るのが早くなりすぎないように、注意して走ること。



### 2 ふくらむな

コーナー出口部分の縁石部分が広いので、Rを大きくして抜けていくこと。縁石ギリギリを走ると、つぎの右のRも大きくできる。



### 6 高速でインを抜ける

アクセルオフでは減速時間が長くなるので、ブレーキで一気に速度を落として曲がっていくこと。ブレーキが少ない、遅れた、と思ったら、無理に曲がらずコース外側の舗装部分に出ていく手段もある。

※ フィリップアイランド Philip Island Circuit ※※※ 全長: 4448メートル

メインストレート部分以外に直線になる部分がないので、ステアリング操作がかなり忙しくなる。ハンドリングはつねに慎重にし、長押しにならないように十分に注意しよう。コース幅が狭い点にも注意が必要だ。

このほかにも注意しなければならないのはコースの両縁に少し段差があること。コースを攻めすぎて縁石にタイヤを乗せようすると脱輪状態になって速度を落とすことになる。舗装面から出ないように走ること。

**3 早めに左サイドへ**

手前の大きな左を高い速度で立ち上がると右側にふくらんでしまう。そのままではこの右へのライン取りが厳しくなり、ブレーキも間に合わない。早めに左側に寄りブレーキングを入れるようにしよう。



**2 早めにブレーキングを**

まわりに目印が少ないのでブレーキングが遅れがちになる。とくにこのコーナーは遅れると、まず100パーセントコースアウトするので、早めにブレーキを。



← 縁石にタイヤを乗せないよう、注意して走ろう。

**4 減速に注意**

この大きく長い左は、インをキープして加速をしていく。インキープ時の操作には十分注意すること。減速させずにそのまま左側を走り、ストレートへ。



**1 ていねいに**

この長い左はインをキープすること。だが、タイムアップのために無理してインを突くと長時間、脱輪状態になり速度を落とすので、操作には十分に注意が必要。

※ グリーンフィールド Green Field Circuit ※※※ 全長: 2042メートル

きついコーナーが少なく難易度も低く思えるが、微妙に蛇行していてコーナーをつなぐラインの構築がけっこう難しかったりする。前半分の低速コーナーでは、いかに速度を維持できる大きなRで走れるかが求められ、中盤以降のゆるく蛇行する部分は、アクセルワークを活用して最短コースを走ることが求められる。しっかりコースレイアウトを暗記して走るようにしよう。

またきついコーナーもあるので、蛇行部分からブレーキングへのラインをしっかりと作れるようにしていくこと。



**3 コーナーの前後に注意**

コーナーを単体で見れば、右側からブレーキングしてアウトインアウトで済むのだが、手前のゆるい右、通過後すぐの右を考えるとこの出入り口はかなり忙しい。早めに右に寄り、ふくらまないように注意しよう。



**2 おせらずにインへ**

コースを上から見るとコの字型になっているのがわかる。この形をしっかり覚え走り、このふたつ目のインを外側から進入できるようにしていくこと。



**1 多めに減速**

メインストレートで加速しているのだから、ここの進入は早めにかつ多めに減速が必要になる。急るとつぎの左が難しくなるので注意。



**4 落ち着いて**

最終コーナーは、メインストレートでの加速をしやすくするために、スローインファーストアウトで走り、立ち上がり鋭くさせよう。

# モナコ Monaco Circuit

全長：3370メートル

伝統の「モナコ」のコース。鈴鹿よりも短いコースなのに、覚えることが非常に多く、長く感じられる。また市街地コースということもあり、タイトなコーナーが多いので、暗記プラス「慣れ」が必要になる。それに超低速コーナリングをマスターできれば完璧。



## 2 左をキープ

加速を意識すると、右に寄りすぎてしまう。ここはその先の右への進入に備えて、左側をキープして走るようにしよう。

## 1 早めに左側に寄ろう



マップ上では一度左に曲がるが、切り返さずに右へ。

市街地コースとはいうものの、区画が直線的ではないのでメインスタンド前がゆるやかに右に曲がっている。気をつけないと右に寄りやすいので、意識的に左につこう。



## 4 緊急時は……

ここは手前でかなり減速をしていないと切り返せないが、奥の右をショートカットすれば強引な突っ込みでも通過が可能になるぞ。



この手前の右でかなり減速しているため、ここからは速度維持程度の加速のみでここに進入。いちばんきつい左へ必ずインを突いて抜けるようにしよう。



## 6 左側！ 左側！

きつい右が続くここは、インを突いたらすぐに外側＝「左側」に寄るようにして、少しでもRを大きくして速度の維持に努めよう。



## 5 あわてずに左側

手前の切り返しを抜けて加速体勢に入るが、つぎの切り返しはけっこうきつい。加速しすぎてブレーキングが遅れないように注意し、Rを大きくして抜けていこう。

## 3 思いきり減速して

きついコーナーは、ラリーならドリフトで抜ければいいだろうが、オンロードでは話は別となる。この区間はスライドをさせず、思い切り減速し、低速のグリップ走行で抜けていこう。

# ラリーアリーナSS Rally Arena SS Circuit

全長：5221メートル

ラリーのスペシャルステージのこのコースは、オン、オフロードのコースを本物同様にデュアルレース形式で行われる。そのコースは外回り、内回りの2コースを続けて走り、内回りスタートなら2周目は外回りを、外回りスタートなら2周目は内回りを走るレースとなる。

実際に走ってみるとわかるが、マップ上ではコースレイアウトはほぼ同じに見えても、内回り、外回りの性格上、コーナーのRの大きさが変わってくるために、個別にラインを作らなければならない。さらによく見ていくと、部分的に並走しないところもあるので、別々に暗記しないといけない部分もある。しっかり2周分を暗記して、コースを攻めていけるようにしよう。



## 1 内回りは急

内回りでスタートすると、最初の右はきついコーナーとなる。手前で減速をしつつフェールをスライドさせて脱出方向に合わせていこう。



## 2 逆曲がり要注意

ここは内回りと並走せず、コースレイアウトが変わる。内回りとは逆の曲がりかたになるのだ。間違えると崖に接触するので要暗記。

内回りスタート  
(半周)

外回りスタート  
(半周)



## 1 外回りだが注意

外回りだが、少しでも速度超過に陥るとテールが大きく振れ、前に進まなくなる。アクセルワークには十分に注意すること。



## 3 早めの減速

このきつい左は、手前で加速してくるので、早めにブレーキング。スライドさせてもふくらまないようにすること。抜けたら外回りコースへ。



## 2 左側から

ここは手前から右に曲がっているため、インに入りやすいが、奥に行くほどきつくなるので、切り込むのをガマンしてRを大きくしていくこと。



## 3 少し抑えて

最後は内回りになり、ここはきつい右に変化している。舗装路にもなるので、スライドさせすぎで加速が鈍らないように注意して抜けていこう。

∴ウォーターブリッジ Water Bridge Circuit ∴∴ 全長：4948メートル



**3 下りは注意**

逆走からは加速途中、順走はトップスピードでの進入となる。怖いのは順走から。多めに減速し、その後の切り返しに備えよう。



**5 道が狭い**

ここは、高低差の影響は少ないので、双方向とも手前、脱出後のラインの移行に注意しつつ、コースの狭さに気をつけて曲がる。



**6 ダート部分に注意**

ここはコース幅は広いが、両脇にダート部分がある。そこを使ってRを大きくもできるが、ダートの抵抗分も計算して減速しないと遅くなるので注意。



**2 角度を付けて**

ここは双方向とも同じラインで大丈夫。注意する点は、きつく長いコーナーなので、しっかりテールを滑らせインキープすることだ。



**1 インキープ**

双方向とも手前にコーナーがあるので、早めに外側に出ること。そこから早めのブレーキングでインをキープしていくこと。



**4 Rが変わる。注意**

マップのとおり、逆走からだとも奥がきつく、順走からだとも手前がきつい。難しいのは逆送から。奥できつくなるので、早くインにつかないように。

このリリーステージは双方向で走ることになる。各々のコーナーはラインを逆走すればいいが、その前後の流れ、高低差によって、進入、脱出速度が大きく変わってくる。本コースの攻略はあくまでも基本知識とし、状況に合わせて対応していくようにしよう。

未舗装路部分では、タイヤのグリップは期待できない。トラクションのかけすぎでクルマが不安定にならないよう、こまめなアクセル操作でインをキープできるようにしよう。

∴ウィンドミル・ヒル Windmill Hill Circuit ∴∴ 全長：4977メートル

このコースは高低差がかなり激しいので、加速しにくく、減速しにくさを計算して前後のラインを考えて走る。とくに上り勾配になる部分では、思うように加速できないので、その手前での速度維持に十分に注意していきたい。

このコースは、安全確実に走ると気がつかないいろいろなイベント？が用意されている。それを確認したい場合は、速度超過でコーナーを走ってみるといいたろう。このイベント？のおかげでクリアタイムが倍になることも。



**2 勾配が……**

逆走からだともここはかなりきつい登りになる。その手前のゆるい切り返しをできるだけ高い速度で抜けるようにして勢いをつけたい。

**4 その先に……**

順走からだともイベントを避けてきているので、進入はしやすいが、逆走からだとも、下って上る左になり、速度超過に陥りやすいので注意。



**1 寄り道する？**

イベント？のひとつがここ。ここは柵干のない橋を走るのだが、その両サイドを走れるのだ。対戦でライバルを驚かせるテクとしては使えるが……。



**3 ブラインドになって先が**

逆走からだとも、登り切ると急に加速が強まってオーバーランに。順走からだとも手前の左でふくらんで左に寄せずラインを逸脱。ここはゆっくり抜けるように。

**5 コーナー外側に**



きつくないコーナーに思えるが、双方向からの進入は、加速してきてラインがふくらみやすく、インのキープが難しい。早め、多めに減速して崖下ツアアのイベントに行かないようにしよう。



**6 左側から**

逆走からは蛇行で不安定、順走からだとも速度超過インを突けなくなる。早めに減速してクルマの頭をインに張り付けるようにしよう。